

# 個性ある技術で勝負

## 環境時代の市場戦略

### 中堅企業トップに聞く

独自色を備えた製品開発を強みとする京都の中堅企業。高い技術力を武器に新規ユーザーの確保に加え、ニッチ市場の開拓などで成長を続けてきた。環境問題に対しても関心は高く、例えば二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)削減など経済活動にマイナスと見られるテーマに対しても、むしろチャンスと考えているようだ。それぞれの持ち味である技術力で環境という新たな市場にどうアクセスしていくのか。各社のトップに聞いた。

### NKE

— 低炭素社会の実現が求められています。

「政府が掲げたCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)削減の数値目標は、難しい問題を含んでいるものの、大きな変革を生むだろう。カーボニクスをカーボンチャンスに変えることが不可欠だ」

— NKEの方針は。

「動力源の少ない物流システム作りや、設計のシンプル化による原材料削減を打ち出した。こうすれば使用後に廃棄物が増えるはず。ほかに製品の耐久性にも重きを置いている」

「実際のユーザーのニーズはどうか。」

「製品の売り上げが伸び悩む中で、オーバーホール(検査・修理)の引き合いが増えている。シンダーやチャックなどの消耗品を交換するだけで、製品を継続使用できる点にユーザーが注目しているようだ」

— 今後の製品開発の方向性もエコ重視ですね。

「もちろんエコを製品開発のキーワードに掲げている。NKEにもこれまで培ったノウハウや製品技術がある。アイデアを単純に製品化するのではなく、顧客ニーズとかけ合わせて新製品を生む動きを加速したい」

## 動力源少ない物流へ

### 設備設計・製作

「動力源の少ない物流システム作りや、設計のシンプル化による原材料削減を打ち出した。こうすれば使用後に廃棄物が増えるはず。ほかに製品の耐久性にも重きを置いている」

「実際のユーザーのニーズはどうか。」



中村 道一 社長



中村 道一 社長

## 設備設計・製作

（この欄は元の画像が非常に小さく、読み取れないため、本文の他の部分と重複する内容と見なす。）